

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JR TT）が発行する「サステナビリティボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 柳沢祥二、以下「当組合」）は、2019年5月30日に発行された独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JR TT）が発行するCBI認証付サステナビリティボンド（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が①環境改善効果があること（グリーン性）および、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本債券は、複数の国際基準に適合している旨、国際的な第三者評価機関であるDNV GLによる検証と、環境改善効果についてはDNV GLによる評価に加え厳格な国際基準を設けるClimate Bonds Initiative（CBI：低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGO）からのプログラム認証（一度の認証で継続的な債券発行が可能となる制度）をアジアで初めて取得しております。

また、本債券の発行により調達した資金が充当される事業は、国連の継続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献するものです。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上